






SDGs おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>令和6年10月15日

事業者情報					
事業者名	鵜の木地区町会連合会				
代表者 職・氏名	職名 会長				
	氏名 堀江 敏雄				
ホームページ URL (任意)	<a href="https://sites.google.com/view/unoki-ota">https://sites.google.com/view/unoki-ota</a>				
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての2030年のあるべき姿					
<p>私たちは、鵜の木地区7町会の安全・安心な居住環境を持続的に形成し、地域コミュニティを次世代へ継承していくことを目指します。</p>					
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>					
<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>2 飢餓をゼロに</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> 
		○ ●			
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>12 つくる責任つかう責任</p> 
				○ ●	

					
				○●	

目標の達成に向けた取組内容等		
関連するゴールの数字を記入 (複数記入可)	これまでの取組内容	これからの取組内容
11	継続的な組織運営により、毎年「鶉の木地区連合運動会」をはじめとした様々な地域事業を主催・実施している。	組織・事業運営において、次世代への継承による持続可能性の実現を意識して取り組む。
3、11、17	高齢者が地域との交流を通し、元気で生きがいある生活ができるような仲間づくり・ふれあいの場として、平成14年から鶉の木地区で3つ(もみじ、鶉の木、千鳥)の「ふれあい元気塾」が結成された。町会の方々が自主的に運営し、毎月1回、園児とのふれあいや講演会、健康体操、コンサートといった多様な催しを実施している。	高齢者だけでなく、次世代を担う子どもから大人を対象に、健康づくりをきっかけに地域の絆を深める取組を継続していきたい。 例えば、現在は地元中学生との地域課題解決に向けた総合学習授業に取り組んでいる。 子どもたちとその保護者が鶉の木地区に関心や愛着を持ち、住み続けたいと思えるような地域を共につくっていきたい。
11、17	地域力鶉の木地区委員を対象に「鶉の木 de SDGs アクション」と題して、町会活動とSDGsとの関連について区長とのトークセッションや、環境・健康に関する講演会等を実施してきた。 ホームページや鶉の木地区の町会掲示板・区設掲示板、地域情報紙「さんぽみち」等に上記取組を紹介し、幅広い世代へ鶉の木地区の取組をPRした。	今後も、SDGsに関連する講演会や町会活動等を継続し、地域情報紙や掲示板のほか、令和6年9月から運用を開始した「鶉の木地区町会連合会公式LINE」を活用し、次世代を担う若い住民へ向けて積極的にPRしていきたい。